



Heart of Electronics

《2014年3月期》

決算説明会

2014年5月9日

エレマテック株式会社

東京証券取引所 市場1部 CODE:2715

URL: <http://www.elematec.com>

IR 問い合わせ先 : 経営企画部 E-mail: ir@elematec.com TEL: 03-3454-3526

本資料は、当社の事業内容、経営戦略、業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は決算データ・会社データについては2014年3月31日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

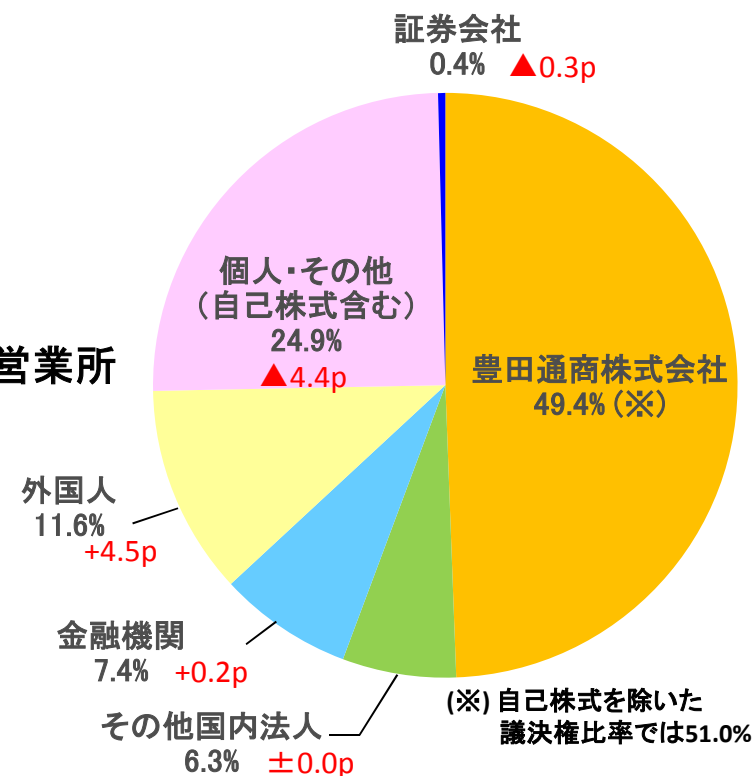
本日のご説明内容

- 会社・グループ概要 … P3～P4
- 決算報告（2014年3月期） … P5～P17
- 通期業績予想（2015年3月期） … P18～P23
- 中長期戦略について … P24～P33

会社概要

商 号	エレマテック株式会社（英訳名 Elematec Corporation）
設 立	昭和22年4月（創立 昭和 20年11月）
上 場	東証1部 平成17年3月（東証2部：平成15年12月、JASDAQ：平成14年6月）
所 在 地	東京都港区三田三丁目5番27号 住友不動産三田ツインビル西館25階
代 表 者	代表取締役会長 さくらい さとし 櫻井 恵 代表取締役社長 かとう じゅん 加藤 潤
事 業 内 容	エレクトロニクス専門商社
従 業 員	【連結】1,154名 【単体】357名
営 業 拠 点	【国内販売拠点20ヶ所】本社・本店・14支店・4営業所 【海外販売拠点36ヶ所】 中国 17拠点、その他アジア 15拠点 北中米 3拠点、欧州 1拠点
資 本 金	2,142百万円
発行済株式数	21,152千株：1単元100株
株 主 数	3,589名

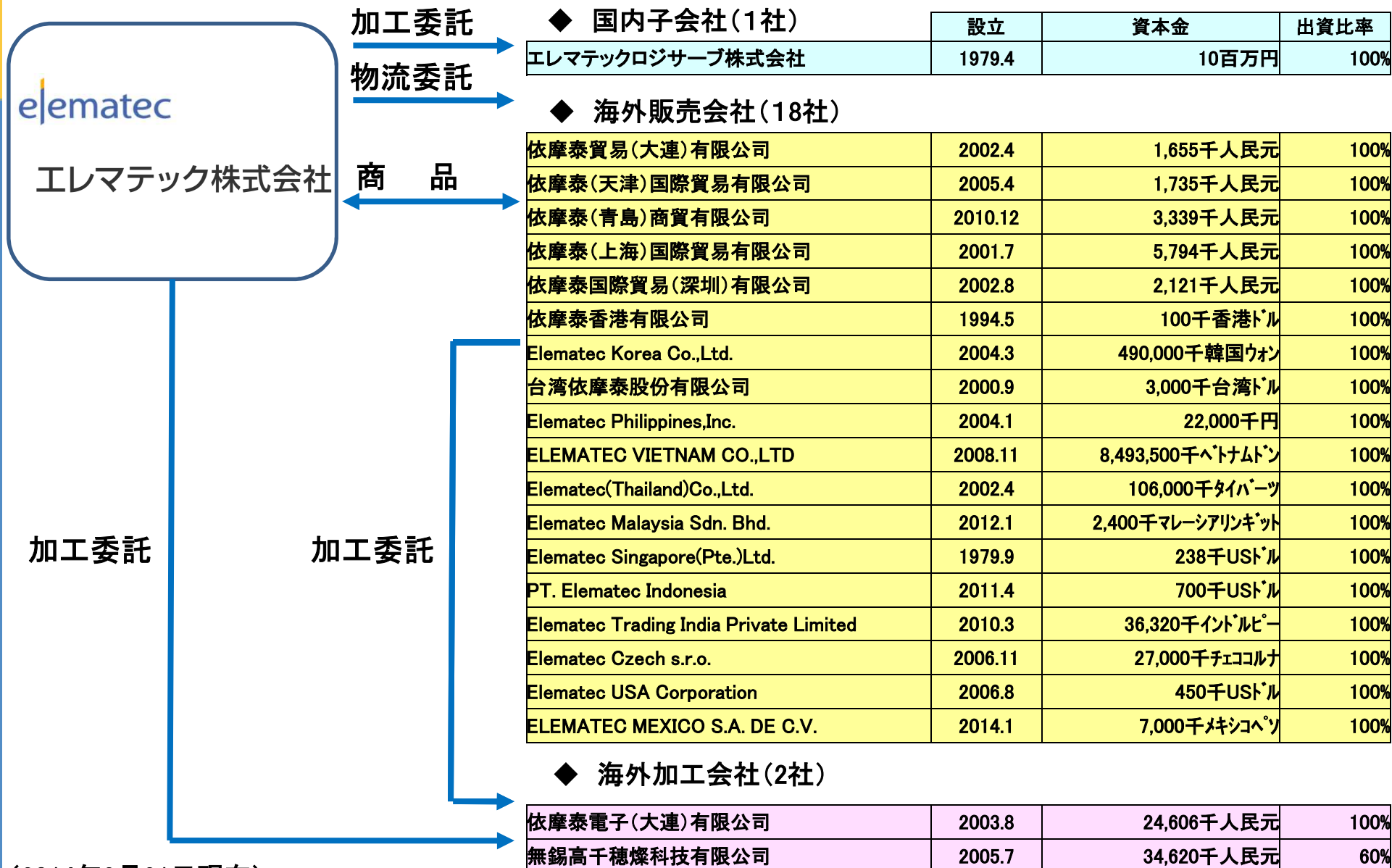
所有者分布状況（2014年3月31日現在）



※上記の各データは2014年3月31日現在

赤字は、13/3末比の数字

エレマテックグループ概要



決算報告

2014年3月期

elem

2014年3月期 連結業績のポイント

○連結売上高 「過去最高更新」

前期比増収

スマートフォン等情報機器端末関連部材の販売に注力

海外売上高も過去最高更新

従来取り組んできた海外ネットワークの拡充展開により海外売上高が増加
〈売上高伸長率及び額の前期比較〉 海外売上高伸び率 +41.5%(+247億円)

○売上総利益・営業利益 「過去最高更新」

売上総利益

売上高の増加による増益及びスペックイン活動の成果により利益率が向上

営業利益

各種経費が増加したものの、売上総利益の増加によりコスト増を吸収

○経常利益・当期純利益 「過去最高更新」

経常利益

営業利益の増加により増益

当期純利益

経常利益の増加により増益

○配当 「連続増配」

1株あたり年間配当金は57円(中間27円・期末30円)を実施。(連結配当性向30.2%)

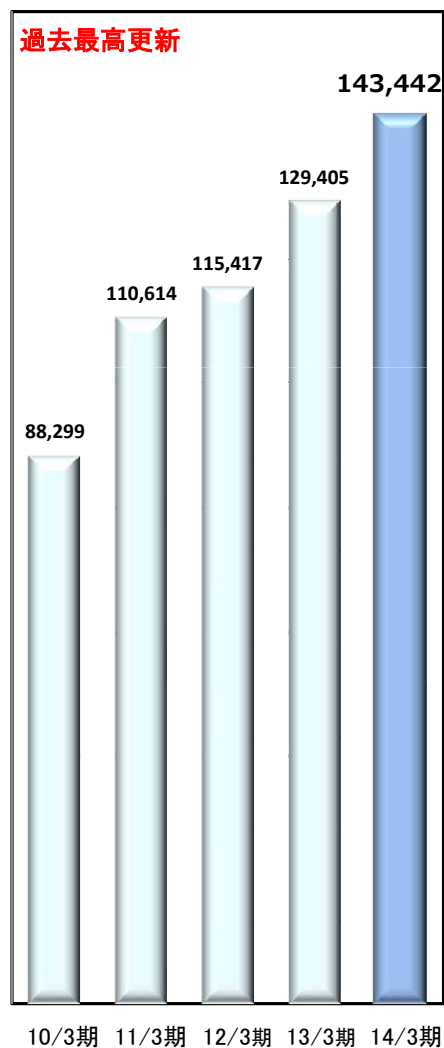
2014年3月期 連結損益計算書

単位: 百万円	12/3期	13/3期	14/3期	増減(14/3vs.13/3)	
				増減額	増減率
売上高	115,417	129,405	143,442	14,036	+10.8%
売上総利益	12,158	12,808	14,909	2,100	+16.4%
売上総利益率	10.5%	9.9%	10.4%	+0.5%	-
販売管理費	8,076	8,661	9,662	1,001	+11.6%
販管費比率	7.0%	6.7%	6.7%	±0.0%	-
営業利益	4,081	4,147	5,246	1,098	+26.5%
営業利益率	3.5%	3.2%	3.7%	+0.5%	-
経常利益	4,081	4,727	5,644	917	+19.4%
経常利益率	3.5%	3.7%	3.9%	+0.2%	-
当期純利益	2,462	2,997	3,863	865	+28.9%
当期純利益率	2.1%	2.3%	2.7%	+0.4%	-
連結EPS	120.29円	146.42円	188.70円		
1株当たり 年間配当金	40円	44円	57円 (期末配当 30円)		
連結配当性向	33.3%	30.1%	30.2%		
連結ROE	8.7%	9.7%	11.2%		

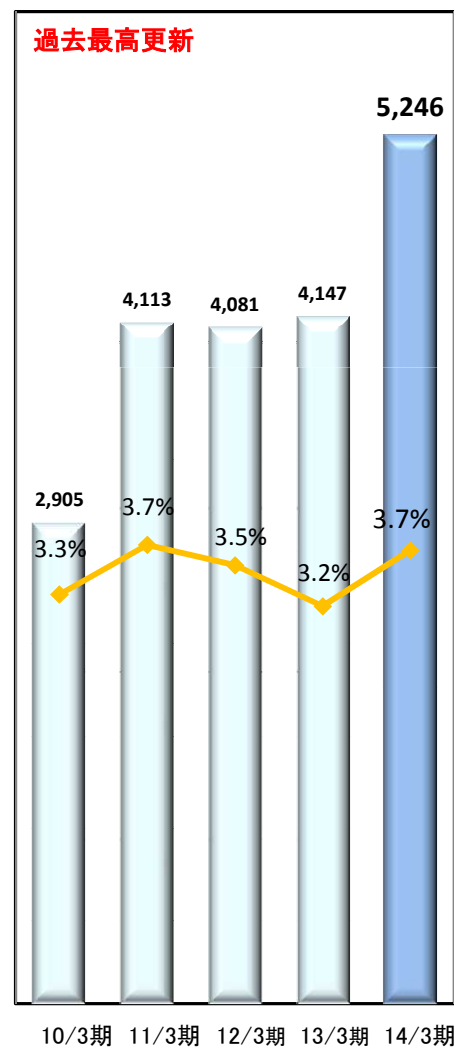
業績の推移

単位: 百万円

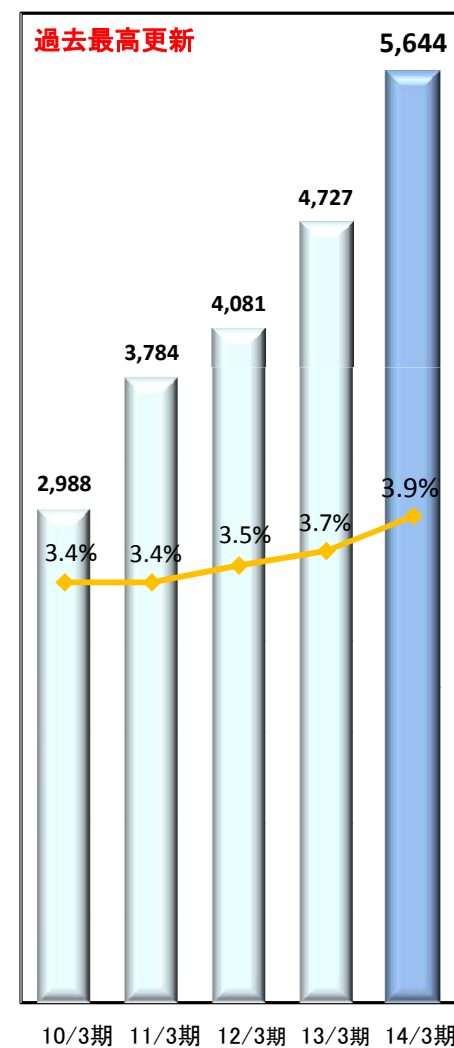
連結売上高 推移



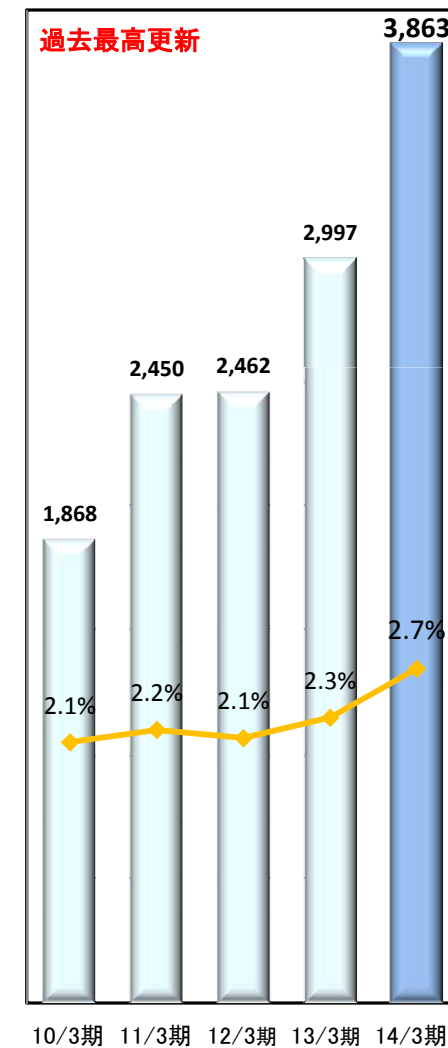
連結営業利益 推移



連結経常利益 推移

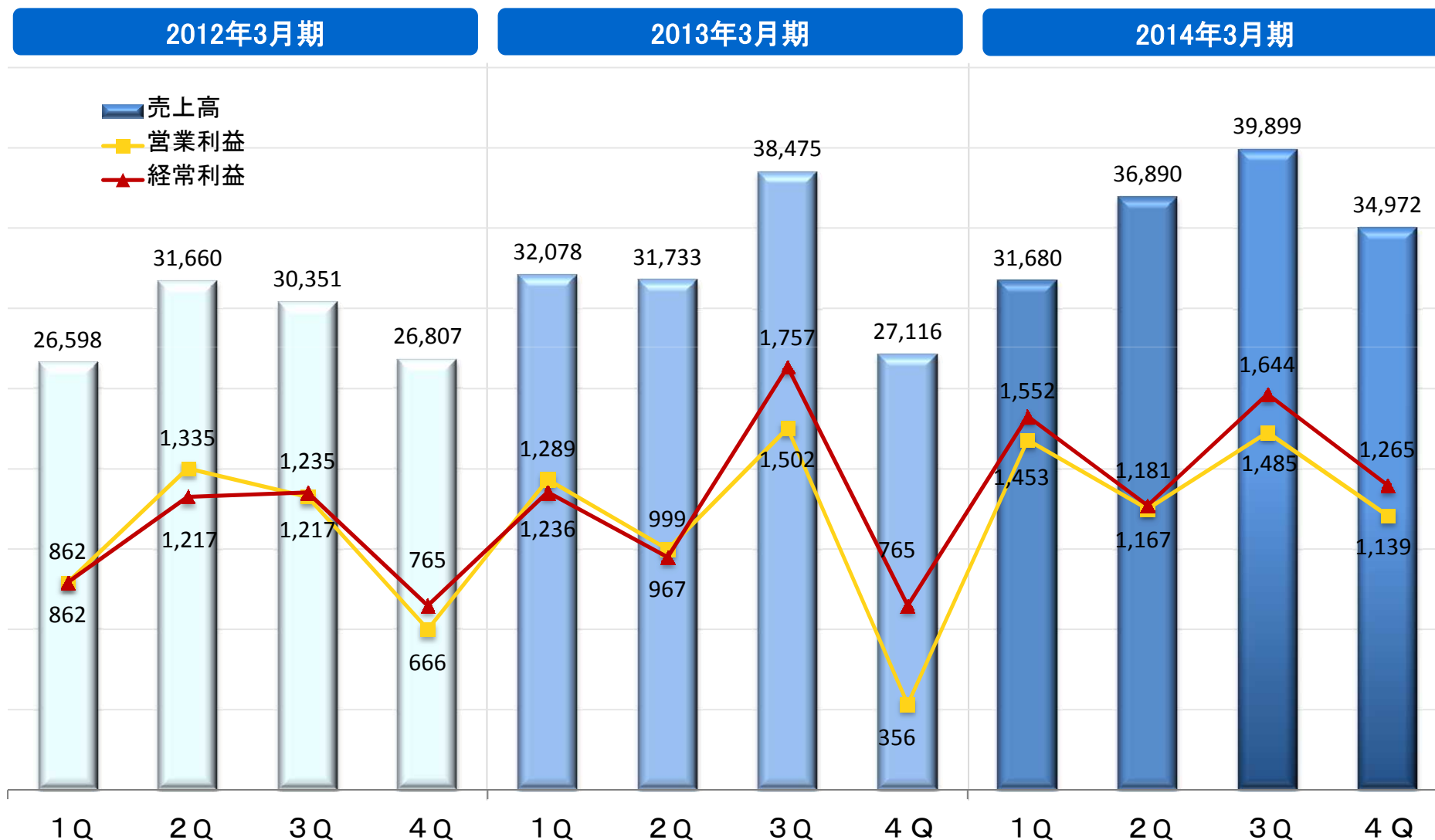


連結当期純利益 推移



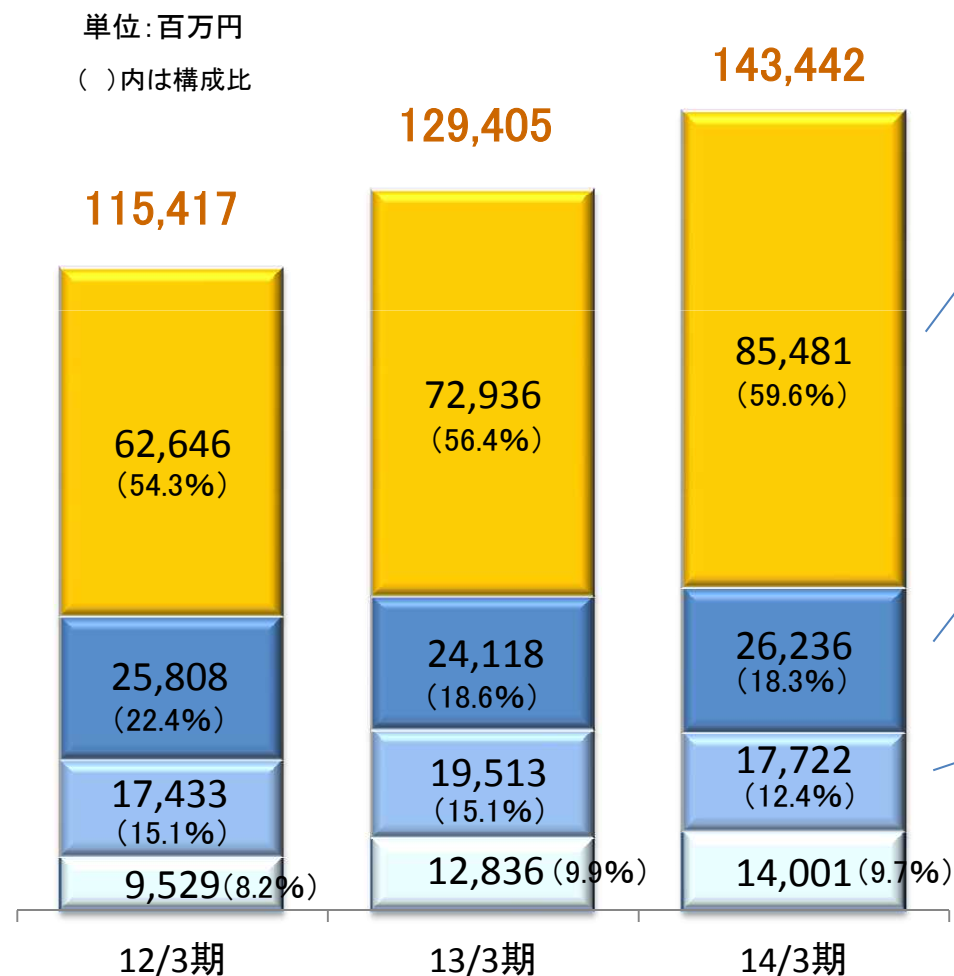
四半期ごとの業績の推移

単位: 百万円



品目別売上高

アミューズメント用等の「機構部品」が減少したものの、スマートフォン等情報機器端末関連部材の「ディスプレイ部品・材料」が大幅に増加



増減要因

◆ 電気材料 前期比+12,545百万円

- ・半導体関連 ▲ 40百万円
- ・絶縁材料 ▲ 544百万円
- ・配線材料 +2,876百万円
- ・ディスプレイ部品・材料 +10,253百万円

◆ 電子部品 前期比+2,117百万円

- ・センサー部品 ▲ 16百万円
- ・電気部品 +528百万円
- ・光学部品 +1,605百万円

◆ 機構部品 前期比▲1,791百万円

◆ その他 前期比+1,165百万円

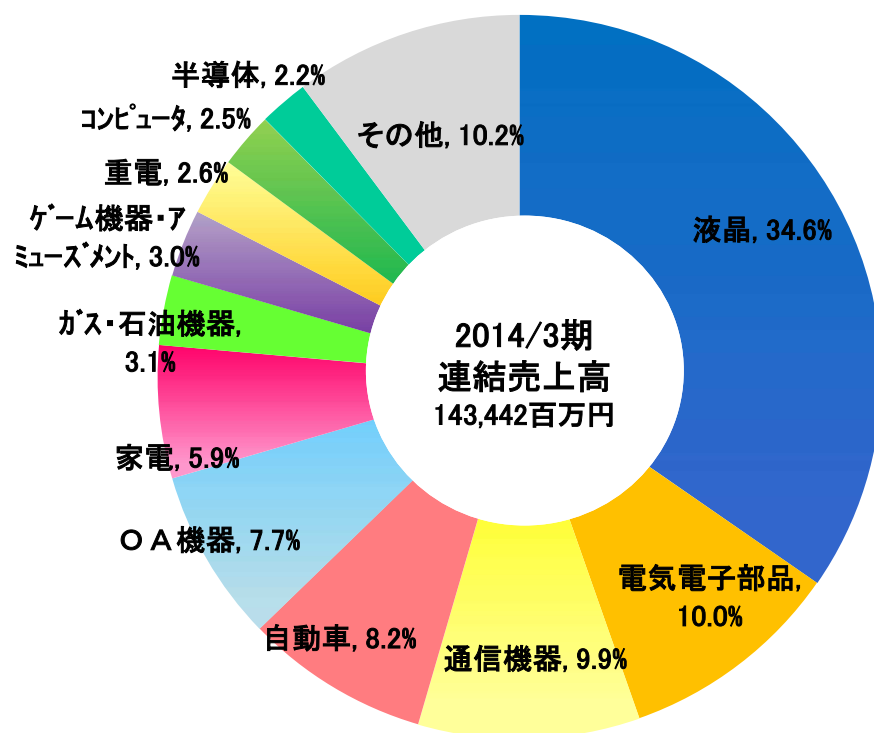
販売先業種別売上高

遊技機向けを中心とした「ゲーム機器・アミューズメント」が減少したものの、
スマートフォン向けを中心とした「液晶等ディスプレイ」が増加

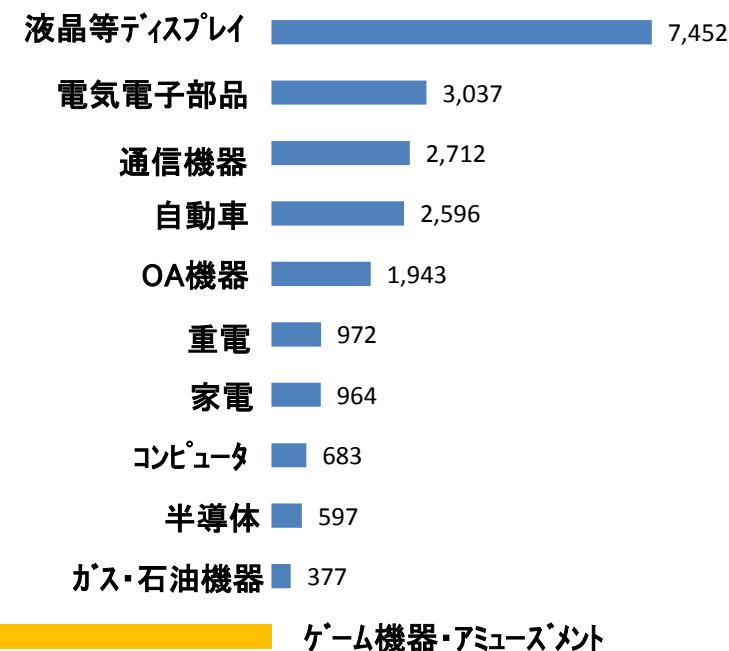
(単位:百万円)

液晶等ディスプレイ	電気電子部品	通信機器	自動車	OA機器	家電
49,683	14,328	14,188	11,807	11,089	8,504
ガス・石油機器	ゲーム機器・アミューズメント	重電	コンピュータ	半導体	その他
4,469	4,331	3,672	3,577	3,150	14,638

販売先業種別 業種別構成比



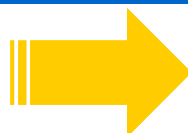
販売先業種別 前期比増減額



重点分野別売上高

重点分野の連結売上高に占める割合

2013/3期 56.8%



2014/3期 55.9%

(スマートフォン等情報機器端末向け)

スマートフォン用ディスプレイ部材等が増加

2013/3期	350億円
---------	-------



2014/3期	452億円
---------	-------

対連結売上高比率
31.5%

(調達代行ビジネス)

重電メーカーの中国向け等が増加

2013/3期	151億円
---------	-------



2014/3期	177億円
---------	-------

対連結売上高比率
12.3%

(ゲーム機器・アミューズメント向け)

アミューズメント向け機構部品等がリサイクル化により減少

2013/3期	133億円
---------	-------



2014/3期	51億円
---------	------

対連結売上高比率
3.6%

(自動車関連向け)

カーナビ用関連部材等が増加

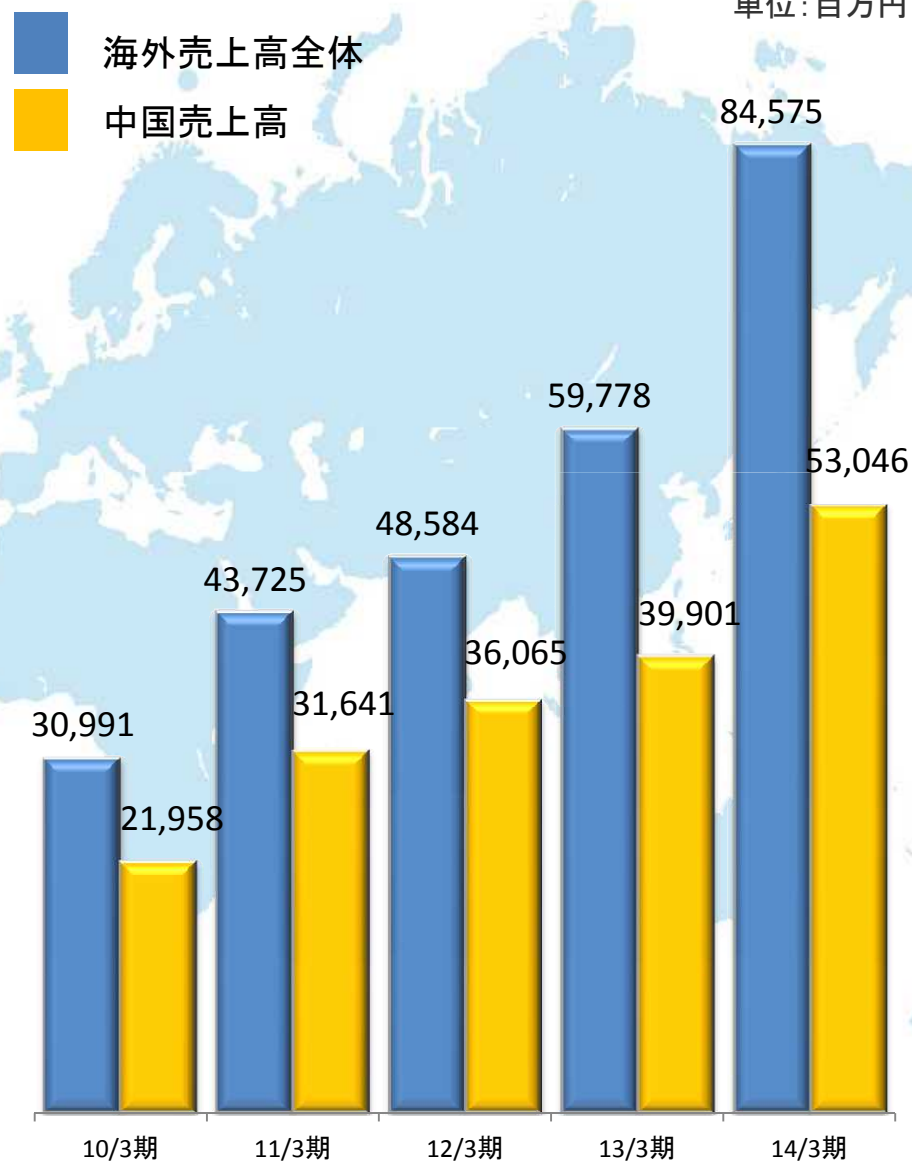
2013/3期	97億円
---------	------



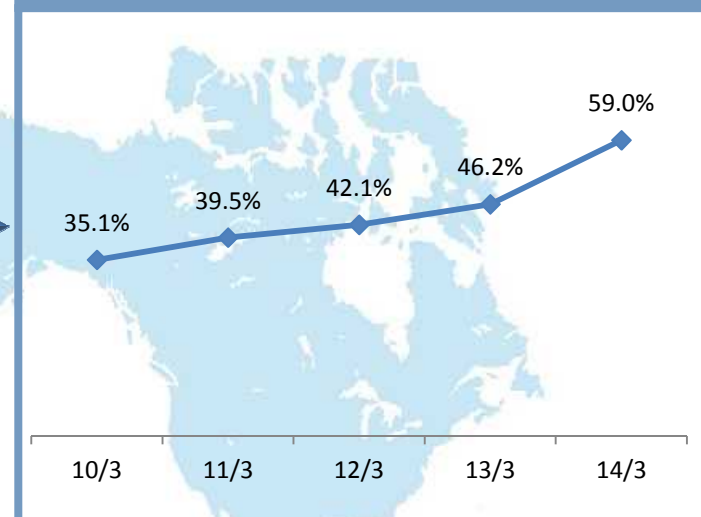
2014/3期	122億円
---------	-------

対連結売上高比率
8.5%

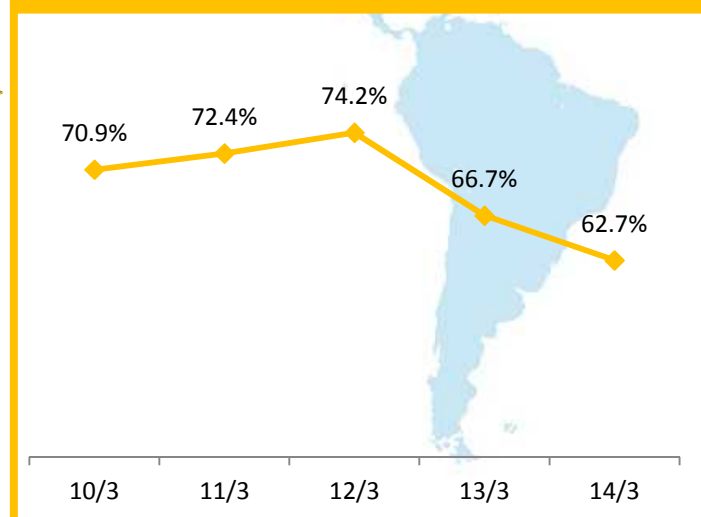
海外売上高推移



連結売上高に占める海外売上高比率



海外売上高に占める中国売上高比率



販売費及び一般管理費の状況

単位:百万円

13/3期

14/3期

販 管 費

8,661
(前期比+584)9,662
(前期比+1,001)

売上高販管費比率 推移

13/3期
6.7% ⇒ 14/3期
6.7%

人件費

4,668
(前期比 +327)5,025
(前期比 +357)

円安の影響による増加及び業績連動賞与の増加により、前期比で増加。

荷造運賃

1,068
(前期比+117)1,284
(前期比+216)

豊田通商とのシナジー効果により、物流費の低減はできたものの、海外売上高の増加に伴い、前期比で増加。

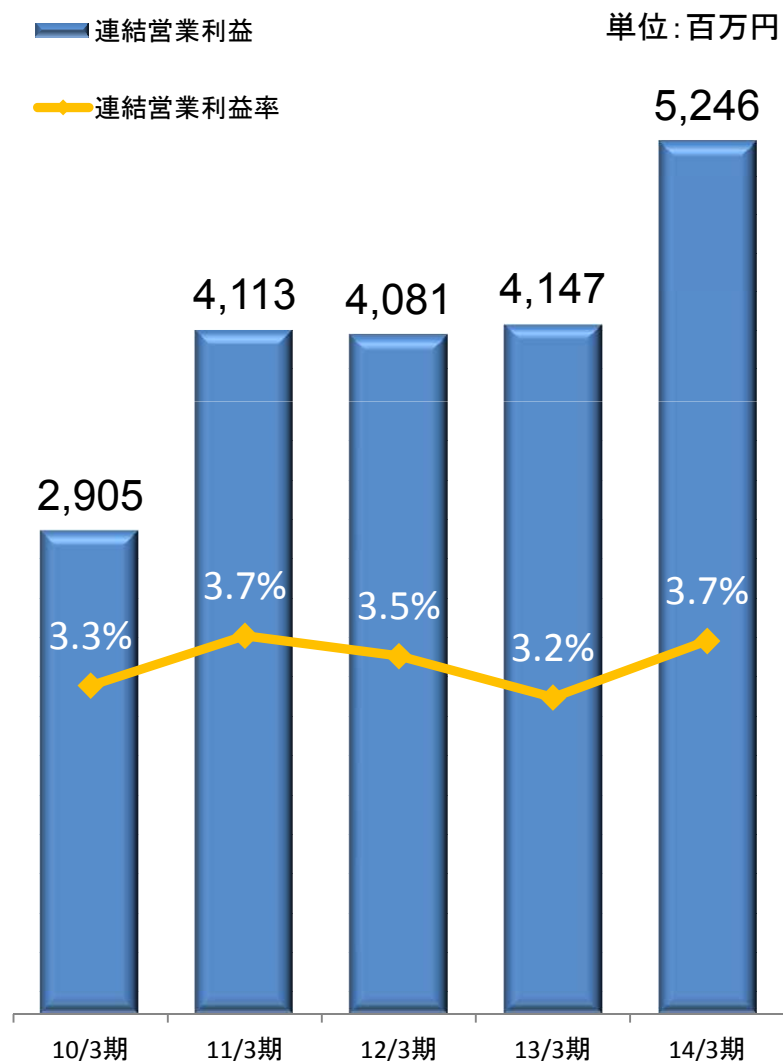
その他

2,924
(前期比+139)3,352
(前期比+428)

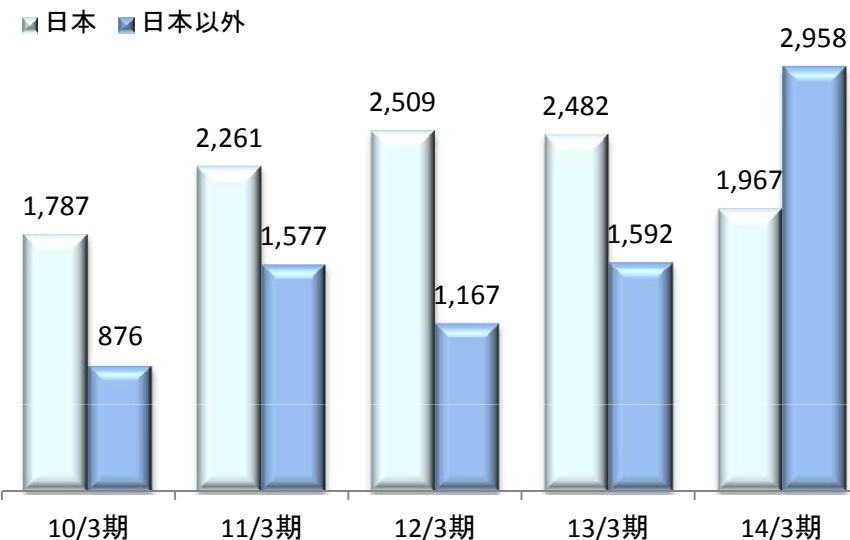
売上高及び海外売上高の増加に伴い、海外渡航関連費用及び国内出張関連費用が増加。

営業利益及び営業利益率

連結営業利益推移

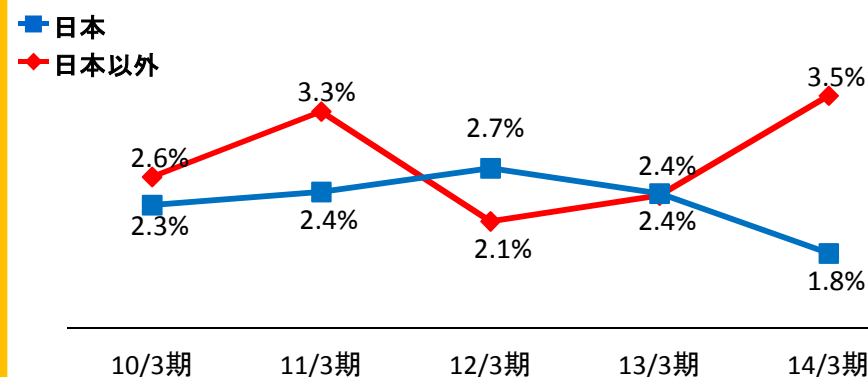


所在地別セグメント営業利益 推移



※上図は、『消去又は全社』前の数値であり、合計値と連結営業利益は一致しません。

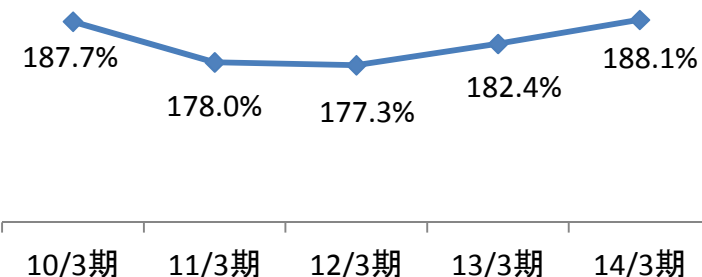
所在地別セグメント営業利益率 推移



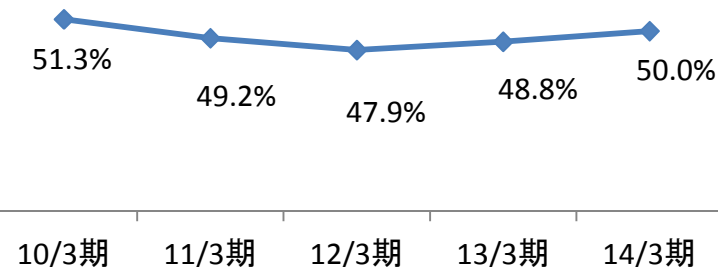
比較貸借対照表

(単位: 百万円)	13/3期 金額	14/3期 金額	増減額
流動資産	61,497	68,426	6,929
現預金	12,793	14,809	2,016
受取手形・売掛金	40,168	43,617	3,449
たな卸資産	6,538	7,337	799
その他	1,996	2,661	664
固定資産	5,082	4,999	▲83
有形固定資産	2,970	2,962	▲8
無形固定資産	295	228	▲66
投資その他の資産合計	1,816	1,808	▲8
総資産	66,579	73,425	6,846
負債合計	33,895	36,481	2,585
流動負債	33,716	36,374	2,658
支払手形・買掛金	30,491	34,094	3,603
その他	3,224	2,279	▲945
固定負債	179	107	▲72
純資産	32,683	36,943	4,260
株主資本	32,964	35,681	2,716
自己株式	▲694	▲694	▲0
その他	33,658	36,375	2,716
その他の包括利益累計額合計	▲467	1,017	1,485
少数株主持分	186	245	58
負債純資産合計	66,579	73,425	6,846

流動比率 = 流動資産 ÷ 流動負債



自己資本比率 = 自己資本 ÷ 総資産



キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)	13/3期 12/4~13/3	14/3期 13/4~14/3
営業活動によるキャッシュ・フロー	152	2,132
投資活動によるキャッシュ・フロー	277	21
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 982	▲ 1,145
現金及び現金同等物に係る換算差額	609	1,007
現金及び現金同等物の増減	57	2,016
現金及び現金同等物の期末残高	12,793	14,809

営業CFの内訳

(単位:百万円)	13/3期	14/3期
税引前当期純利益	4,492	5,628
減価償却費	250	268
売上債権の増減額	▲ 2,755	▲ 1,020
たな卸資産増減額	▲ 835	▲ 353
仕入債務増減額	▲ 122	993
その他	593	▲ 1,367
小計	1,624	4,149
利息・配当金受払	37	24
法人税等支払額	▲ 1,508	▲ 2,041
営業CF計	152	2,132

○ 営業活動によるキャッシュ・フロー

売上債権の増加(営業CF: ▲)

仕入債務の増加(営業CF: +)

○ 財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払(財務CF: ▲)

○ 投資活動によるキャッシュ・フロー

保険返戻による収入(投資CF: +)

通 期 業 績 予 想
2 0 1 5 年 3 月 期

e|em

連結業績予想

☆売上高、利益ともに前期比増加を見込む

リサイクル化からの転換によるアミューズメント向け関連部材の拡大、スマートフォン等情報機器端末関連部材の堅調な推移を見込む。
また、中国向けを中心として、引き続き海外売上高の伸長を見込む。

〈海外売上高及び比率の14/3期との比較〉

海外売上高+114億円(845億円→960億円)、海外売上高比率+1.0%(59.0%→60.0%)

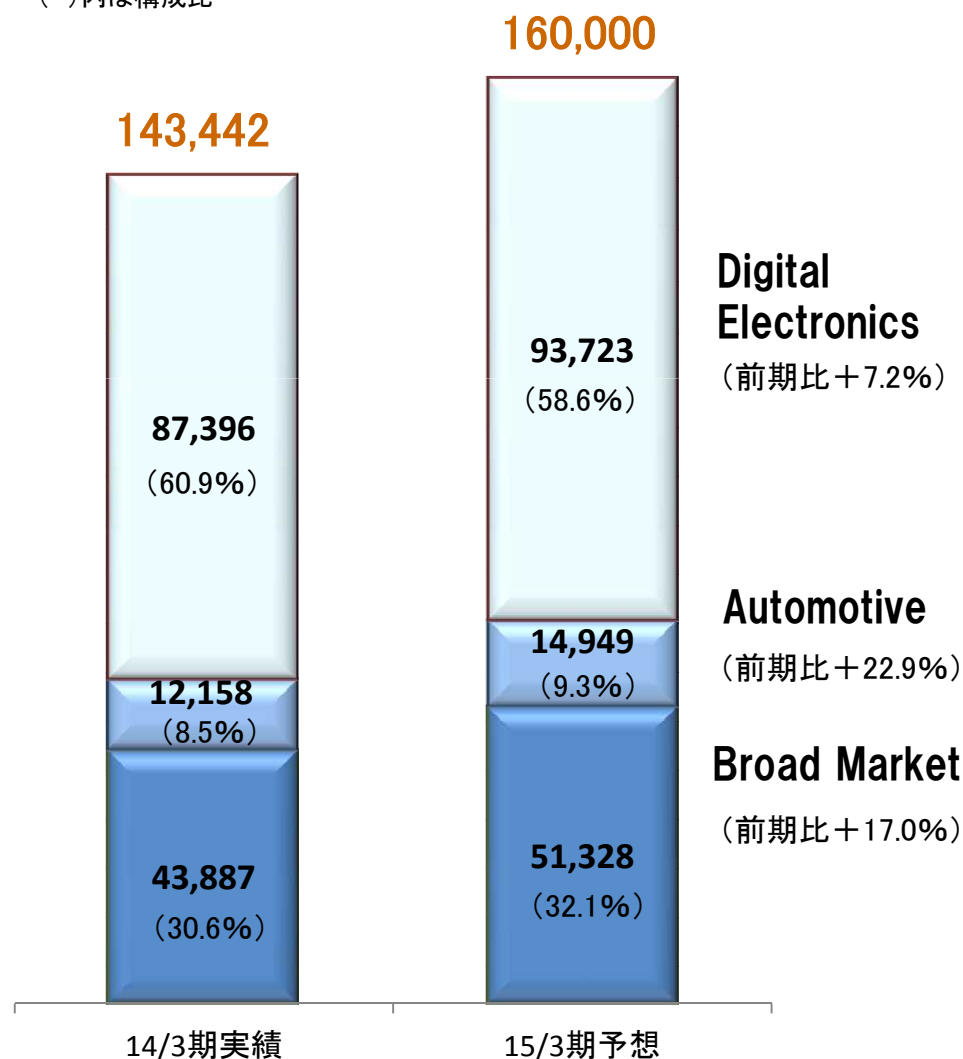
(単位:百万円)

単位:百万円	14/3期	15/3期	増減(14/3 vs. 15/3)	
			増減額	増減率
売上高	143,442	160,000	+16,557	+11.5%
営業利益	5,246	5,600	+353	+6.7%
営業利益率	3.7%	3.5%	△0.2%	—
経常利益	5,644	5,650	+5	+0.1%
経常利益率	3.9%	3.5%	△0.4%	—
当期純利益	3,863	4,000	+136	+3.5%
当期純利益率	2.7%	2.5%	△0.2%	—
連結EPS	188.70円	195.38円	+6.68円	+3.5%
1株当たり年間配当金	57円	59円	+2円	+3.5%
連結配当性向	30.2%	30.2%	±0%	—
連結ROE	11.2%	10.5%	△0.7%	—

通期業績予想(2015年3月期)

連結業績予想(マーケット別売上高)

単位:百万円
()内は構成比



増減要因

◆ Digital Electronics 前期比+6,327百万円

・アミューズメント	+2,173百万円
・電気電子部品	+1,841百万円
・液晶	+860百万円

◆ Automotive 前期比+2,790百万円

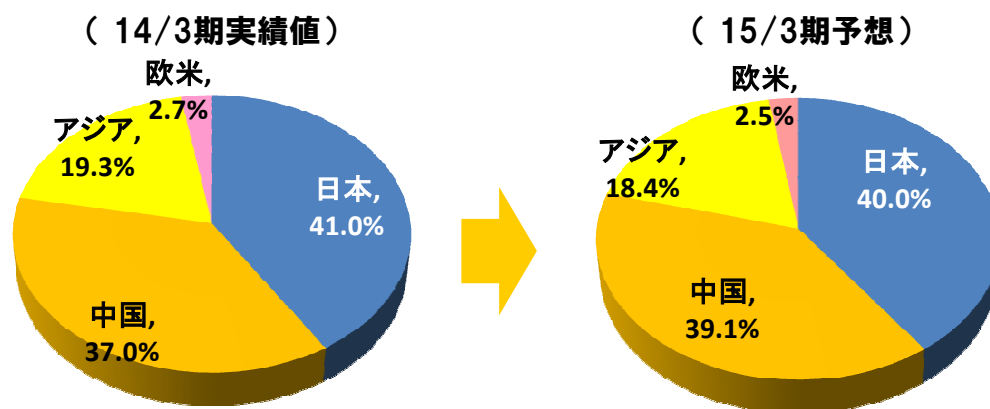
◆ Broad Market 前期比+7,441百万円

・エネルギー	+1,286百万円
・重電	+1,028百万円
・インフラ	+682百万円
・医療機器	+641百万円
・OA機器	+469百万円
・白物家電	+406百万円

通期業績予想(2015年3月期)

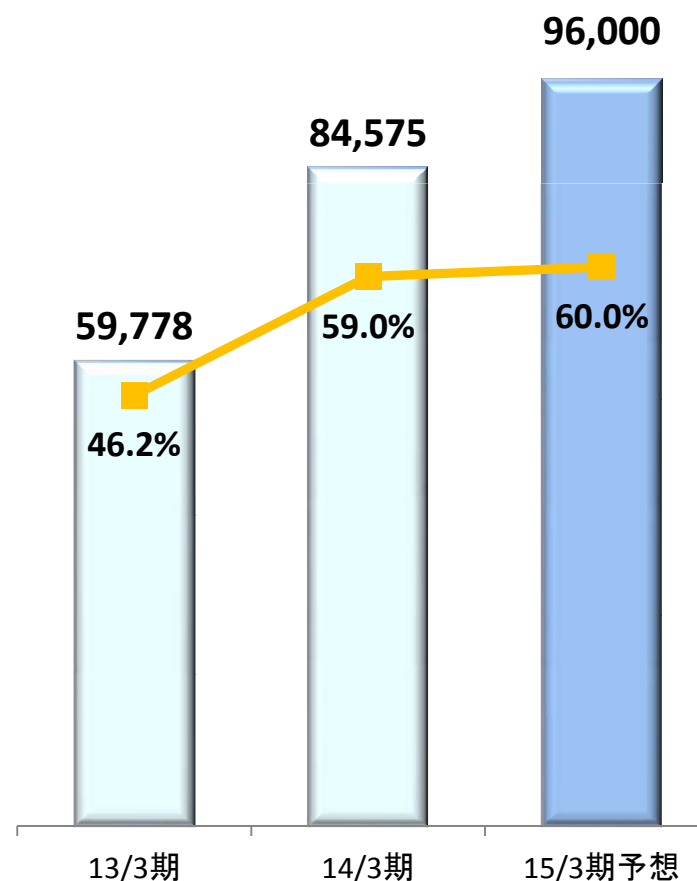
連結業績予想(国内・海外売上高)

◆連結売上高内 構成比



◆海外売上高・売上構成比 推移

単位:百万円



◆国内・海外売上区分

単位:百万円	2014/3期実績		2015/3期予想		増減率
	売上高	構成比	売上高	構成比	
国内売上高	58,866	41.0%	64,000	40.0%	8.7%
海外売上高	84,575	59.0%	96,000	60.0%	13.5%
中国(香港含む)	53,046	37.0%	62,500	39.1%	17.8%
その他アジア	27,647	19.3%	29,500	18.4%	6.7%
その他	3,882	2.7%	4,000	2.5%	3.0%
連結売上高合計	143,442	-	160,000	-	11.5%

通期業績予想(2015年3月期)

連結業績予想(所在地別セグメント)

◆所在地別セグメント売上高

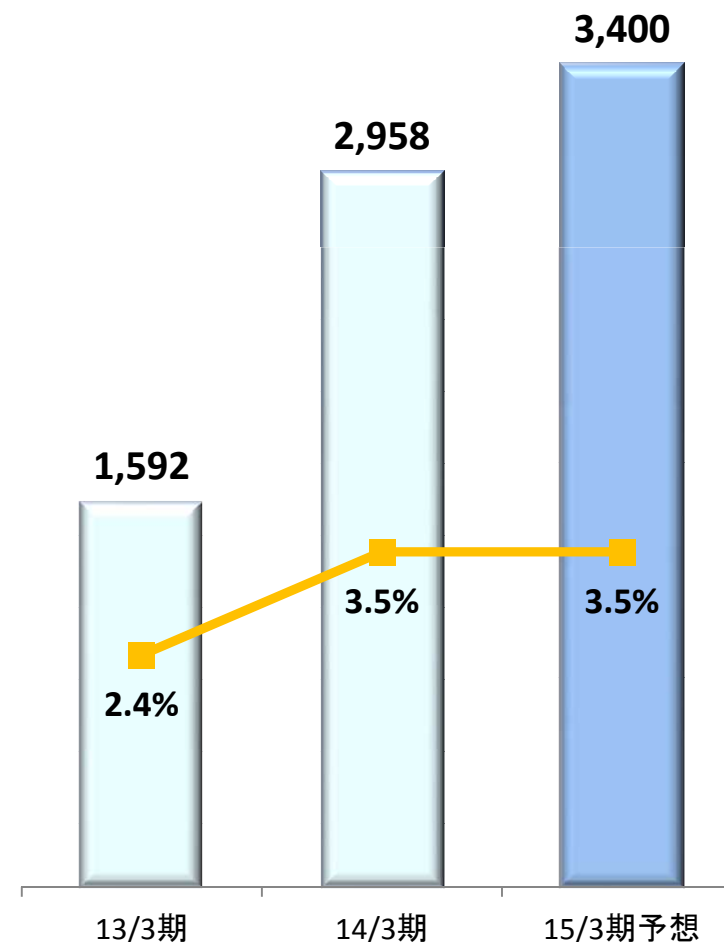
単位:百万円	2014/3期実績		2015/3期予想		増減率
	売上高	構成比	売上高	構成比	
日本	109,952	56.3%	107,500	53.0%	▲2.2%
日本国外	85,333	43.7%	95,500	47.0%	11.9%
中国(香港含む)	57,223	29.3%	62,000	30.5%	8.3%
その他アジア	24,517	12.6%	29,500	14.5%	20.3%
その他	3,592	1.8%	4,000	2.0%	11.4%
消去又は全社	▲51,844	-	▲43,000	-	-

◆国外(中国・その他アジア・欧米) 営業利益・同利益率 推移

単位:百万円

◆所在地別セグメント営業利益

単位:百万円	2014/3期実績		2015/3期予想		増減率
	営業利益	利益率	営業利益	利益率	
日本	1,967	1.8%	1,800	1.7%	▲8.5%
日本国外	2,958	3.5%	3,400	3.6%	14.9%
中国(香港含む)	2,365	4.1%	2,600	4.2%	9.9%
その他アジア	478	2.0%	660	2.2%	37.8%
その他	114	3.2%	140	3.5%	22.8%
消去又は全社	320	-	400	-	-



通期業績予想(2015年3月期)

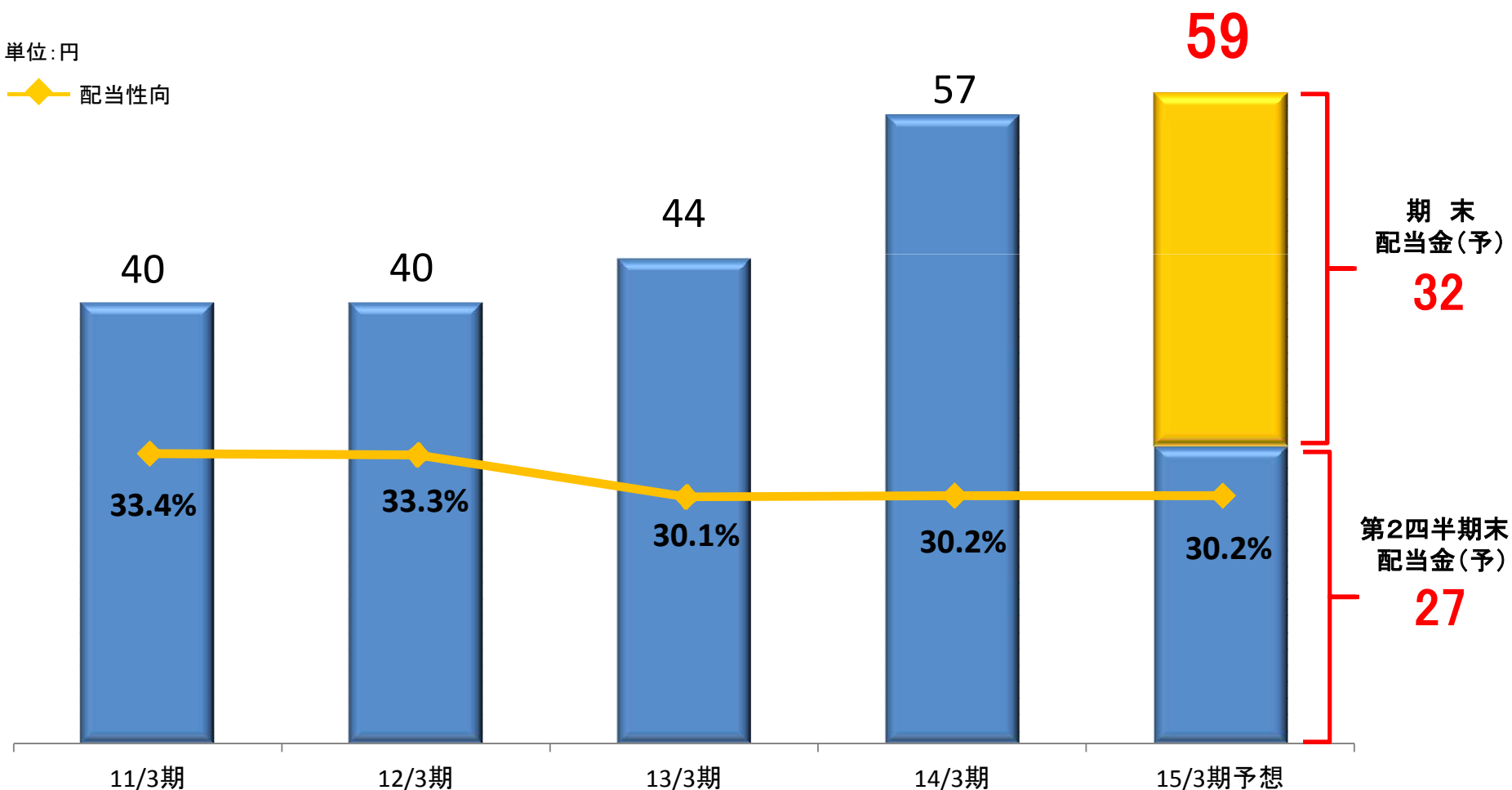
配当方針及び配当予想

配当金は株主の皆様に対する利益還元を中心と考え、
配当性向(連結)30%を維持することを基本方針としています。

1株当たり年間配当金 推移

単位:円

◆ 配当性向



中 長 期 戦 略



今のエレマテックに「+(プラス)」の変革を

e|em

e|ematec 長期ビジョン

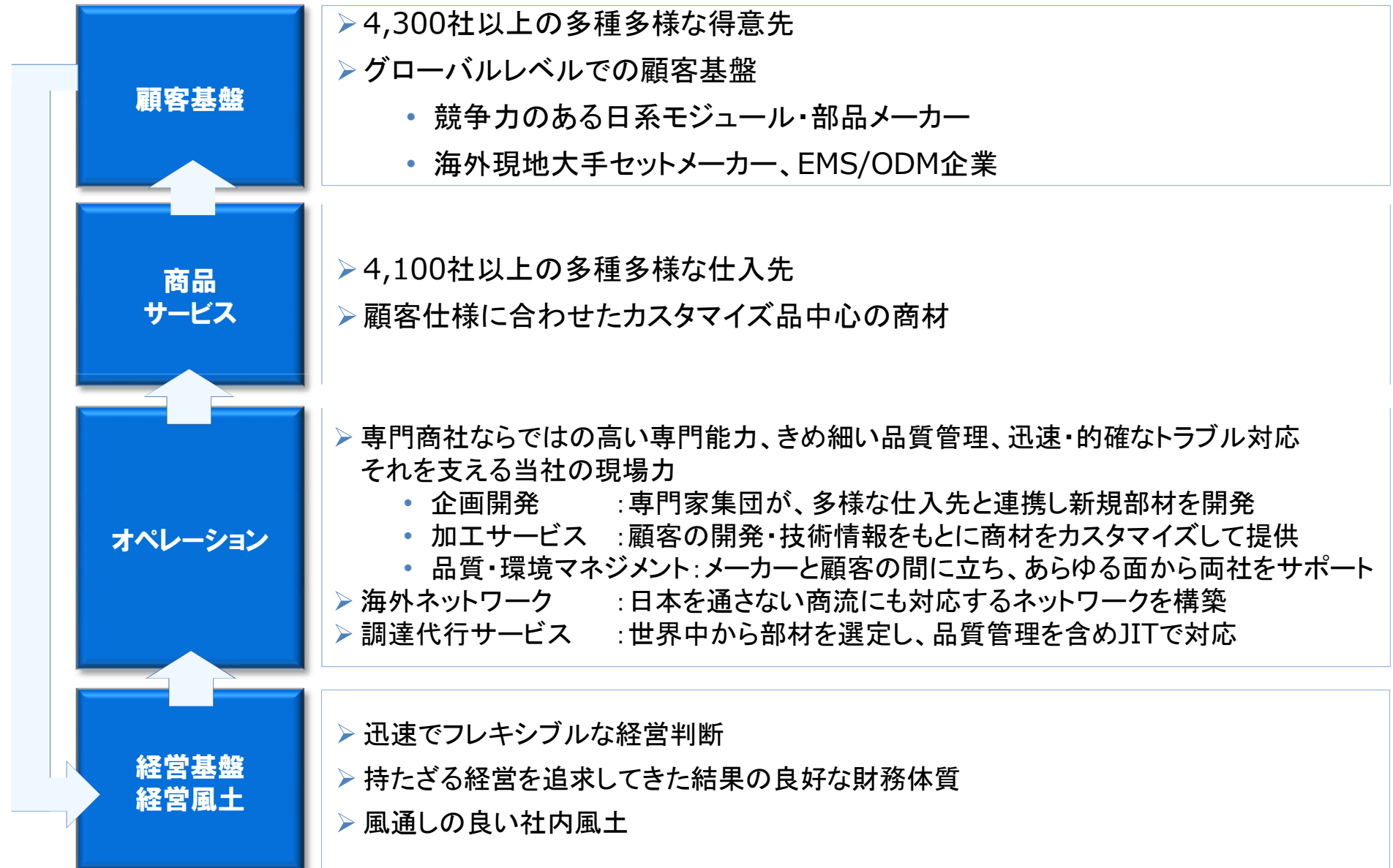
既存商社の枠を超え、
モノ作りのベストパートナー企業として、
多品種の商品、及びニーズにあったカスタマイズ品とサービスを
グローバルに提供し、「No.1電子材料商社」を目指す

これまでの業績成長を支えたキードライバー

「タッチパネル・ディスプレイ関連技術」 × 「時流の変化を捉えた経営判断」



これまでの事業活動で当社が培った強み・事業基盤

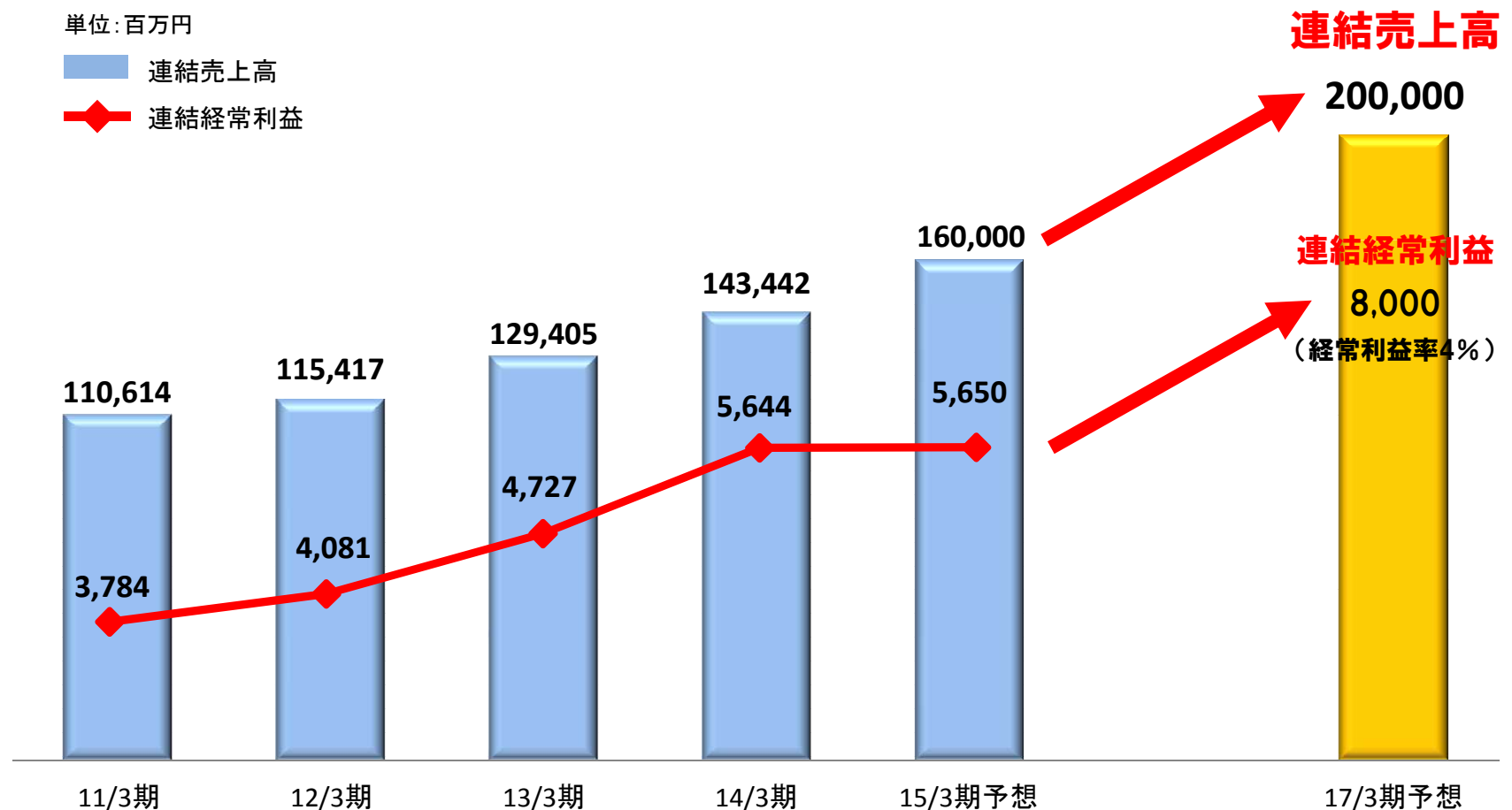


売上・利益推移(予想)

売上高の着実な上積みを目指すとともに、
高付加価値型ビジネスの強化により利益率を向上させる

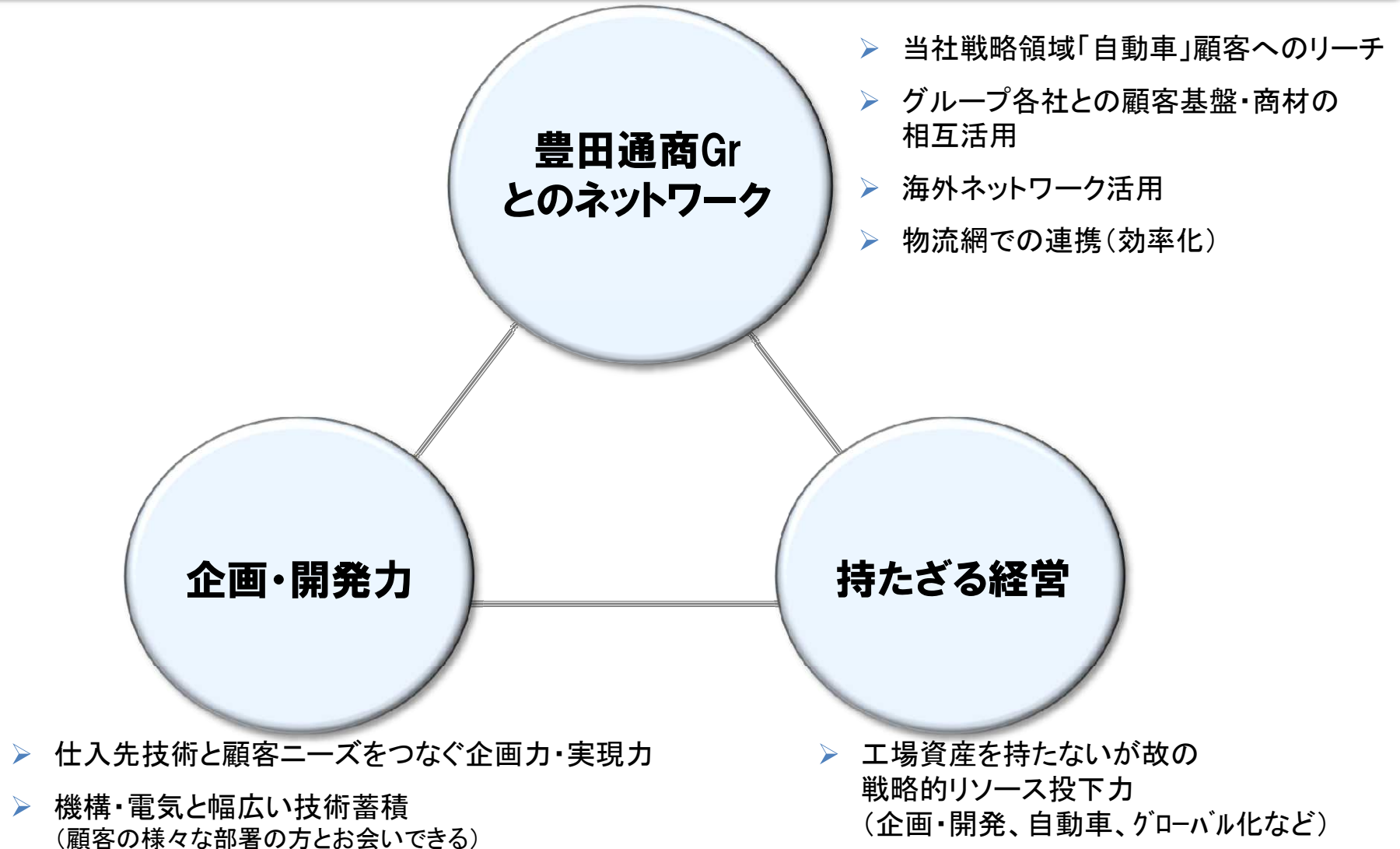
単位: 百万円

■ 連結売上高
◆ 連結経常利益



当社の差別化ポイント

当社独自の差別化戦略により、お客様の事業成長に貢献するとともに、エレマテックの競争力をより強化していく



今後の重点戦略

【目指す姿】 既存商社の枠を超えエレクトロニクス業界で選ばれ続けるベストパートナーに

中長期 基本戦略

「企画・設計」機能を有する一方で生産拠点を保有せず、
自社ブランドを保有しない商社像をめざす

重点 施策

A

テクニカルソリューションの強化(キーテクノロジーの企画・開発)

B

Automotive領域に対する経営リソースの重点配分

C

グローバル化の推進、グローバル拠点横断連携の促進

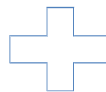
D

健全な財務体質を維持しつつ、積極的な成長戦略投資を実行

E

経営基盤の強化(ガバナンスの強化、ITインフラの強化、戦略的人材開発・育成)

豊田通商グループとの
連携強化



基盤事業

顧客に徹底的に密着するというエレマテックの「伝統的な商社ビジネス」

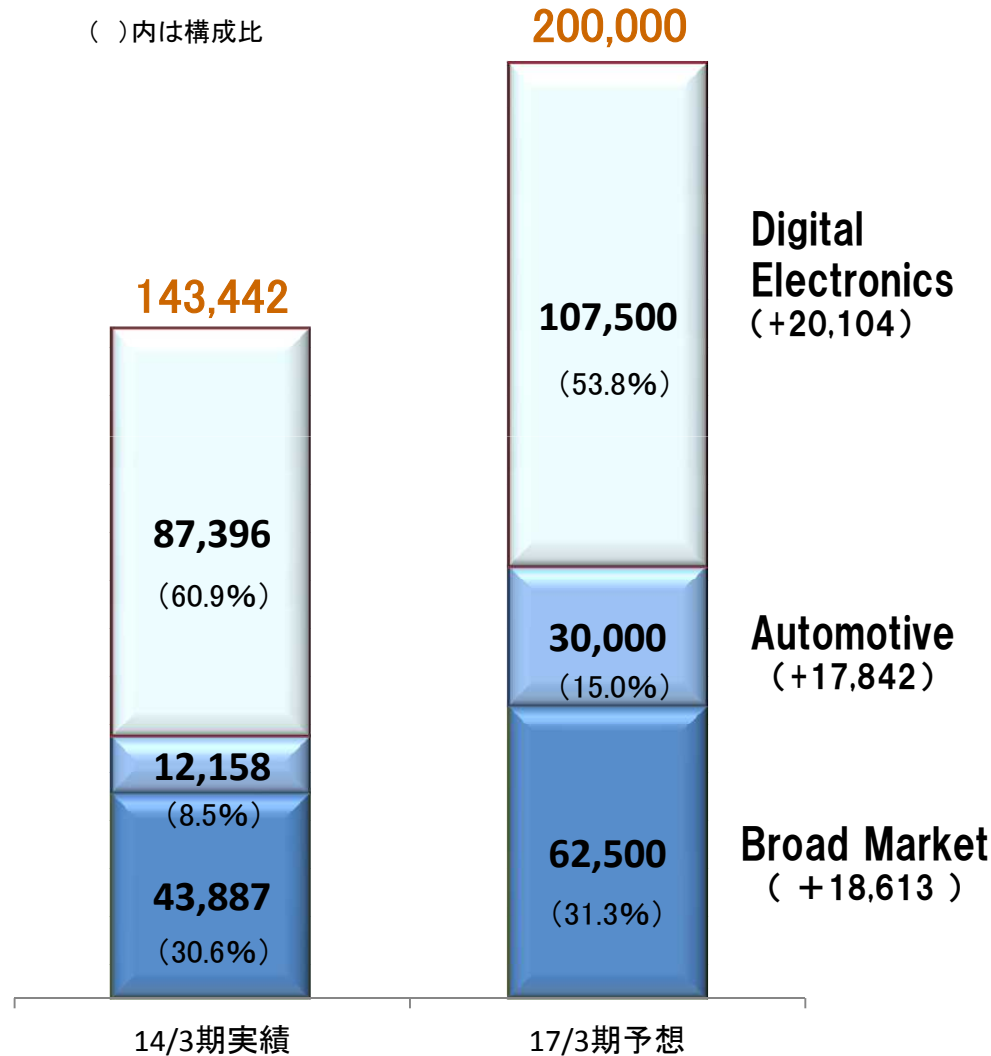
重点戦略領域⇒管理単位を変更し、「マーケット別」管理へ

従来の商品別管理からマーケット単位への管理に変更し、攻めるべきマーケットを明確化

旧 管理単位	新 管理単位 (重点戦略領域)	マーケット 特徴	当社 マーケット区分例
電気材料 絶縁材料、ディスプレイ材料等	1 Digital Electronics	・ロット規模が大きい ・需要のボラティリティが大きく・変化が速い ・製品ライフサイクルが比較的短い	・液晶 ・アミューズメント ・通信機器 ・電気・電子部品 等
電子部品 センサー部品、電気部品	2 Automotive	・ロット規模が中程度 ・需要のボラティリティが比較的小さい ・日系メーカーがグローバルで競争力を有している	・自動車
機構部品	Broad Market 3 B2B Product	・ロット規模が小さい ・需要のボラティリティが比較的小さい ・製品ライフサイクルが比較的長い	・OA機器 ・医療機器 ・産業機器 ・エネルギー 等
その他	Broad Market 4 B2B2C Product	・①と③の間のような性格	・白物家電 ・バイク ・ビューティ ・ヘルスケア 等

マーケット別売上推移(予想)

単位:百万円
()内は構成比



主な重点施策

Digital Electronics

- ・顧客ニーズを実現するテクノロジーの企画力強化
- ・最先端テクノロジーの探索、企画、販売を高速回転
- ・アッセンブルまで含めた顧客サポートの実施
- ・海外セットメーカーへの販売強化

Automotive

- ・新規顧客、未開拓モジュールの取り込み
- ・民生向け有力サプライヤーの横展開
- ・戦略パートナーの掘り起こし

Broad Market

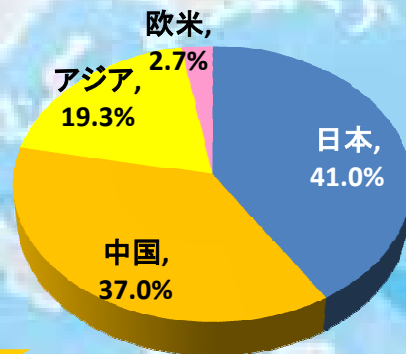
- ・医療、産業機器等へ得意技を横展開
- ・バイク、アフターマーケット等新規領域の開拓
- ・ローカルメーカーの取扱商材拡大(品質フォロー)
- ・戦略パートナーの掘り起こし

豊田通商グループとの連携強化
クロスセル・トータルソリューション提案

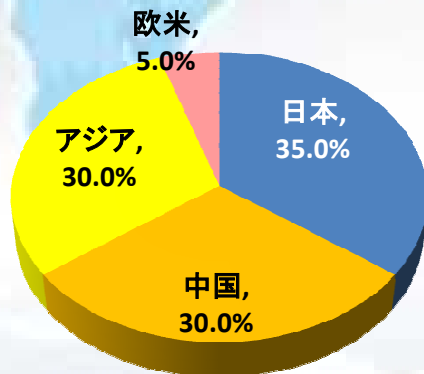
海外戦略 及び 海外売上高推移(予想)

引き続き中国を重点市場と位置付け拡大を目指すことに加え、下記諸施策のもと、チャイナ+1としてASEANを中心にアジア市場を中国と同水準の事業規模にすることを旨とする。

14/3期実績値：海外売上高比率 59.0%



17/3期想定値：海外売上高比率 65.0%



- ・ローカルメーカーへの販路拡大
- ・サプライヤーの発掘
- ・TOP人脈の構築
- ・マーケティング機能の強化

グローバル
コミュニケーション
の促進による
グループ内シナジー
の創出

- ・経営資源の集中
- ・カンボジア・ミャンマー・ラオス等へ進出
- ・豊田通商の拠点網を活用した拠点拡大
- ・トヨタのネームバリューを活用した人材の確保・育成化策の構築

北米拠点拡大検討

メキシコ現法設立

- ・自動車メーカーをターゲットに中南米へも進出
- ・急速にエレクトロニクス化が進む自動車業界への横展開

ブラジルへの進出検討

本日はご来臨賜り、
また長時間にわたりご静聴戴き、
まことにありがとうございました。

e|ematec

エレマテック株式会社

Elematec Corporation

